

人と、歩む。 町と、歩む。 絆で、歩む。

「そこ丁寧ね、雑に扱ったら許さんヨ!」
「もちろんです!」
トラックの周囲に笑い声が響きます。

長野県長野市赤沼。ヤマト社員に混ざり荷を積んで下さっているのは、りんご生産者グループ「長野ヤマト会」のみなさんです。

長野ヤマト会は、日本の産直農家の先駆け。
1974年、配送に通常一週間かかった時代に、
私たちは「採れたてのりんごを、ご家庭へ、新鮮なまま届けたい」
という同じ夢をみて、ともに歩み始めました。
1976年に宅急便が誕生した後も絆を深め、
今ではなんと、仲間意識からヤマト会と名乗って下さっています。

ことし、宅急便は50周年。
思えばその歩みは、こうした日本中のお客さまとの歩みでした。
同じ町に根ざし、同じ汗を流し、同じ時代を走る。
お客さまとの、この年月の積み重ねこそが宅急便の歴史です。

2026年、私たちはこの初心を忘れずいっそう進んでいきます。
もっと、ずっと、想いを託していただける存在へ。
お客さまごと、地域ごと、
一つ一つ違う声や課題により丁寧にお応えし、
あなたの町へ、あなたに寄り添うサービスを届けていきます。

日本中の、あなたとともに、想いとともに。
宅急便 50周年、ありがとう。



ヤマト運輸



宅急便50周年特設サイト